



Vol. 01

小口水素アプリケーションの製作等を通じた 人材育成育成プロジェクト

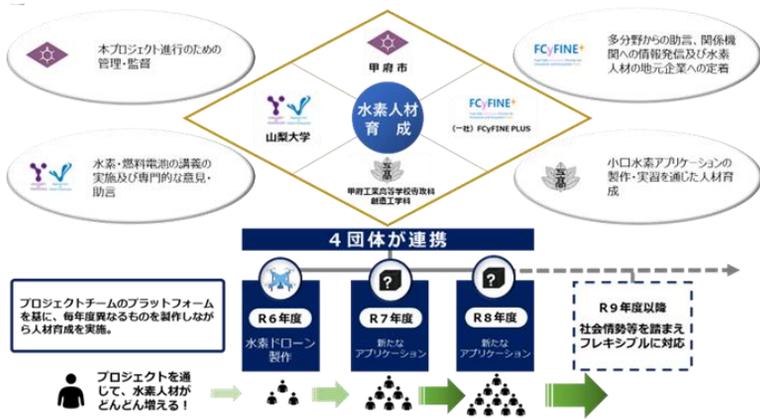


米倉山次世代エネルギーシステム研究開発ビレッジ (Nesrad)

アプリケーション開発を通じ
未来の水素人材の育成へ！

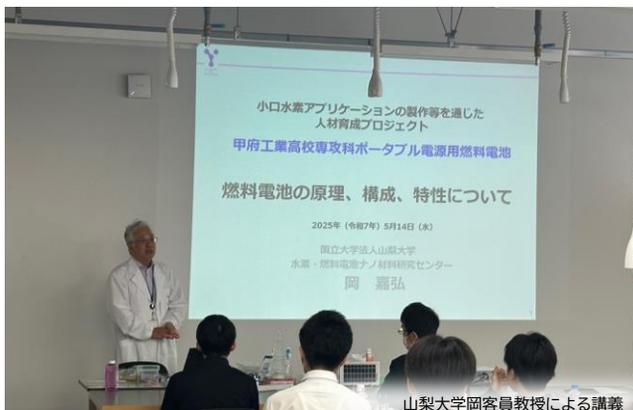
プロジェクトの概要

プロジェクトチームのプラットフォーム



令和6年6月24日に、甲府市、山梨大学、FCyFINE PLUS及び甲府工業高等学校の4団体が、小口水素アプリケーションの製作等を通じた人材プロジェクトチームを発足しました。今後は毎年異なるアプリケーションの開発を通じ、未来の水素社会を担う人材を育成していきます。

令和7年度人材育成事業、開始！



山梨大学岡倉員教授による講義



企業局P2Gシステム見学

令和7年度は ポータブル電源用燃料電池の 製作を通じた人材育成を実施！

令和7年度は、韮崎市に本社がある日邦プレジジョン様による技術支援の下、ポータブル電源用燃料電池の製作を通じた人材育成を行います。甲府工業高校専攻科の学生たちは、まず水素・燃料電池の基礎を学び知識を修得したのちに、アプリケーションの製作に入ります。キックオフとなった今月14日には、山梨大学水素燃料電池ナノ材料研究センターの岡嘉弘客員教授による講義、翌週21日には県企業局(米倉山)の見学を行い、燃料電池の仕組みやグリーン水素の製造方法について学びました。